

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870201286
法人名	社会福祉法人 日親会
事業所名	グループホーム ラ・ファミーユ
所在地	愛媛県今治市菊間町浜 1 4 5 3 番地 1
自己評価作成日	平成26年12月26日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成27年1月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

日親会理念にもあり、グループホームの理念である『笑顔』利用者様と職員とが笑顔の溢れるグループホームになるように、職員全員で協力・努力しています
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●事業所玄関の前は広い造りで、時には近所の子ども達がボール遊びする様子も見られるようだ。中学生の職場体験を受け入れており、生徒は、利用者と一緒にレクリエーションや散歩等をして介護体験をした。居間には、生徒からのお礼の手紙が貼ってあった。小学校の運動会には座席も用意してくれており、利用者は応援をしたり、玉入れに参加して子ども達と一緒に楽しめた。地域のお祭りには事業所前まで神輿やお共馬が来てくれて、利用者はとても喜ばれたようだ。 ●基本的には、2日に一回入浴できるように支援している。湯船の湯は一人ひとり入れ替えて、新しい湯でゆっくり楽しめるように支援している。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています （参考項目：9,10,19）	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている （参考項目：11,12）	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが ○ 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている （参考項目：28）	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名

グループホーム ラ・ファミーユ

(ユニット名)

1F

記入者(管理者)

氏 名

安永 英和

評価完了日

平成 26年 12月 25日

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価) 施設の理念である『親愛』『共生』『向上』の下、グループホーム職員皆で決めた『笑顔』を目標・指針とし、どんな時も笑顔で職務できるよう取り組んでいます。	
			(外部評価) 居間に掛けている時計の横に、事業所理念「笑顔」が掲示されている。管理者は、「利用者、ご家族、近所の方等が笑顔でつながるように」との思いで、日頃から「まず、職員から笑顔で過ごしましょう」と話している。職員で理念について見直す機会が持たれたが、理念を継続することに決まったようだ。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) ・地域の文化祭へ利用者の作品を出展・参加。 ・地方祭で御神輿や御供馬を招いたり、祭りの現地へ見に行っています。 ・地元中学生の職場体験を受け入れたり、小学校の運動会への参加もしています。 ・当施設の行事等に、地域の人を招き交流を行っています。	
			(外部評価) 事業所玄関の前は広い造りで、時には近所の子ども達がボール遊びする様子も見られるようだ。中学生の職場体験を受け入れており、生徒は、利用者と一緒にレクリエーションや散歩等をして介護体験をした。居間には、生徒からのお礼の手紙が貼ってあった。小学校の運動会には座席も用意してくれており、利用者は応援をしたり、玉入れに参加して子ども達と一緒に楽しめた。地域のお祭りには事業所前まで神輿やお共馬が来てくれて、利用者はとても喜ばれたようだ。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議にて認知症についての話し合いをしますが、実際に地域の人々に向けて活かせることがまだ出来ていません。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し 合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活 かしている	(自己評価)	
			入居者様・家族様・地域・行政・事業所とで意見交換を行 い、意見や要望等をミーティングで話し合い改善すべき事を 速やかに行い、サービス向上に活かしています。	
			(外部評価)	
			会議は、地域の代表者、ご家族の代表、市職員が参加して おり、参加者の希望を踏まえて午後5時30分から開催されて いる。事業所からは、活動状況や職員研修の内容報告、行 事予定等を伝えており、参加者に要望や助言を聞くようにし ている。会議録はご家族もみられるようにファイルして置いて いる。	会議を活かして、地域との関係を深めたり、又、事業所への 理解や協力を広げていけるよう取り組まれてほしい。又、ご 家族へも参加を積極的に働きかけ、出席できなかったご家 族への報告についても工夫されてはどうだろうか。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業 所の実情やケアサービスの取組みを積極的に 伝えながら、協力関係を築くように取り組んでい る	(自己評価)	
			運営推進会議で出席している市役所職員さんと情報交換し たり、分からないことなどがあれば、市役所へ連絡し教えて いただいたり、色々と情報などをいただいています。	
			(外部評価)	
			運営推進会議時には、市の担当者の方が「インフルエンザ」 や「食中毒」等のパンフレットを持参してくれてアドバイス等 がある。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における 禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解し ており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしない ケアに取り組んでいる	(自己評価)	
			代表者及び職員全員、身体拘束をしなケアに取り組んでい ます。	
			(外部評価)	
			日中は玄関から出入りが自由に出来るよう開放している。ユ ニット入り口のドアは、開けるとチャイムが鳴るようになってお り、調査訪問時には、チャイム音を聞いて職員が玄関先まで 来られ、外に出ようとする利用者を制止することなく見守って いた。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 高齢者への虐待についてミーティング等で話し合いを行い、身体的虐待だけでなく、言葉が暴力にならないよう言葉使いや表情など、職員が互いに気を配ったり、入浴介助・トイレ介助時などにも身体の状態をチェックし異状があれば上司報告・申し送りでの報告し、防止に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 必要に応じて説明等を行っています。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 本人様と家族様等に、施設見学をしていただき契約書及び重要事項説明書を説明し、本人様・家族様の要望・不安・疑問などの思いを十分に話し合い理解・納得をしていただいています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時や電話など、家族様等から管理者や職員・グループホーム自体への意見・苦情等があれば伝えていただき、速対処するようにしていますし、グループホーム玄関に意見箱を設置して直接伝えられない人の意見・苦情も対処できるようにしています。 (外部評価) 毎月送付する書類の中に、担当職員が、利用者の生活の様子と行事予定を書いた手紙を同封している。1月には、前年1年間の行事時の利用者の笑顔の写真をA4サイズにまとめて、ご家族に送付する予定になっている。管理者は、ご家族の来訪時には「何でも言ってください。良いように変えていきたいので意見が欲しいです」と伝えて、気付いたことを言ってもらえるよう働きかけしている。運営推進会議時には、ご家族にも発言してもらえるような場面を作って、利用する立場からの意見を聞くようにしている。現在、ご家族からは感謝の声が多いようだ。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			毎月1回ミーティング・二ヶ月に1回の施設全体研修があり、その場で提案出来る機会を設けている。提案のあった場合は、運営者と検討して必要なものや活用可能なものに関しては、運営面で反映させていけるようにしている。	
			(外部評価)	
			月一回ユニットごとにミーティングを行い、ケアの見直しや行事計画、ヒヤリハット等について話し合っている。2ヶ月に1回「介護とは」「接遇について」等、内部研修が実施されている。外部研修に積極的に参加できるよう、勤務等も配慮をしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			職員各自それぞれが自己評価を行い、自己評価表を基に管理者が評価を行い、その結果を代表者が評価して昇給及び賞与等に反映されています。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修の案内など情報が入ると回覧し、希望者が参加できるように調整したり、職員に合った研修があれば受講をすすめている。・二ヶ月に1回、施設全体研修を行っています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			『今治市グループホーム交流会』に参加しており、個人的な交流は行っていないですが、事業所間での交流をこれからも取組んでいきたいと思っています。	
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			まずは、本人様・家族様等にホームへ来ていただき、話しをよく聴いてから説明することで不安を解消していただき、実際にホームの見学(触れ合い)をしていただいてから、具体的な話し合いを行っています。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が 困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾け ながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 上記(15)の事を本人様・家族様等と一緒にいき、不安・悩 み・要望をよく聴いた上で、本人様と家族様の生活状況・問 題点等を洗い出し、解決の為の方策等を提案したりして家 族様との信頼関係作りを努めています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族 等が「その時」まず必要としている支援を見極 め、他のサービス利用も含めた対応に努めてい る	(自己評価) 本人様や家族様の相談内容に応じて、当法人内で他の事 業所のサービスや他の介護サービスを進める話しも、本人 様や家族様等の状況に合わせて行っています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におか ず、暮らしを共にする者同士の関係を築いてい る	(自己評価) お菓子作りや農作業などを利用者様から指導を受けたり、外 出時に花や虫などの名前を利用者様から教えてもらったり、 行事の作業とか利用者様の得意分野を職員が利用者様を 頼りにして関係を築いています。	
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におか ず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本 人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族様には、利用者様の日々の様子やエピソードなどを報 告し、家族様にも協力してもらえる支援はおねがいし、今後 利用者様を支えていく上で必要な情報を共有し家族様と良 い関係を築いています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めてい る	(自己評価) 利用者様・家族様の希望があれば、近隣・友人等の顔馴染 みとの電話での会話や面会も実施しています。外出行事 で、ドライブや買い物などで思い出の場所へ行ったり、通り かかった時などに思い出話をしたりと、支援に努めていま す。 (外部評価) 地域のお祭りに出かけた時、利用者は昔の祭りの様子等も 話してとても喜ばれたようだ。併設の法人デイサービスに 通っている知人の方が、会いに来てくれることもあり、居室で ゆっくりできるよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 日中は、出来るだけ居室よりフロアに出て他の利用者様や職員と過ごしていただいております。利用者様同士の関係を職員が把握しており、トラブル発生を未然に防ぐよう対応しています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 利用終了前から本人様や家族様からの相談にのったり、終了後も他の介護サービスへ紹介・仲介を行っています。	
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人様の意思を尊重しつつ本人様の状況を考慮し、職員皆で考え出来る限りの対応をおこなっています。 (外部評価) 入浴時や居室で過ごされるような時に、職員は利用者「どうですか」等と話しかけて、ゆっくり話を聞くようにしている。入浴時にはご家族の話や若い頃の話をするようだ。ケアマネジャーは、アセスメント様式を改善して、情報を蓄積したり共有できる仕組みを作りたいと話しておられた。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用者様や家族様等に利用者様についての聞き取りを行ったり、入居までに他の介護サービスを利用していたら、その事業所からも情報をいただいたり、出来る限り把握できるように努めています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 入居後1ヶ月程は、利用者様自身の生活パターンや癖等を細かく記録して職員全員で把握するようにしています。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			グループホームでの生活が、安全と安心が保障された利用者様主体の生活になるよう利用者様・家族様と職員の意見を取り入れ、利用者様に適した方法で介護できるよう介護計画を作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(外部評価)	
			1ヶ月分の生活記録を1枚にまとめてあり、モニタリングもできる様式になっている。3ヶ月ごと担当職員を中心に話し合い、ご家族や利用者の満足度も含めて「モニタリング一覧表」をまとめ、見直しにつなげている。変化がなければ3～6ヶ月で見直しをしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			事業所内で対応出来ることと、隣接する同施設で対応出来ることに関しては、家族様と相談し必要に応じて柔軟に対応しています。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			大きな施設行事の時に、民生委員さん・婦人部さん・地域のボランティアグループさんが手伝いに来てくださったり、地域の小学校の運動会に参加したり、中学校の生徒さんが利用者様にイベントで来てくださったりしています。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 基本的に病院受診に関しては、家族様の希望に合わせています。週1回の協力医療機関の医師による往診を行っていますが、家族様が協力医療機関以外の病院を希望する場合は、家族様対応か保険外対応等で医療受診が行えよう支援しております。	
			(外部評価) 協力医が週1回往診に来て、全員の診察をしている。診察の結果や薬の変更等、必要時にはご家族に報告している。入所前からのかかりつけ医の受診は、基本的には、ご家族が付き添うことになっている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 利用者様の身体に異状が発生・発見したら、利用者様に適切な受診や看護を受けられるように支援しています。	
			(外部評価)	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) 入院時には、病院へ基本的な情報を提示し、入院先相談員等・家族様・施設で連携し、情報交換・相談を重ねて、利用者様の退院後について皆で考えていくようにしています。	
			(外部評価)	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 重度化した場合や終末期までのあり方についての対応は、指針を入居時に説明しており、受け入れ先が見つかるまで当施設で対応することで同意を得ており、家族や医療関係者と施設とで連帯が取れ、出来る限りの支援をしています。	
			(外部評価) 入居時には、重度化した時の事業所での対応について、たとえば、入浴は「リフト浴がないのでシャワーで対応します」等と説明してから終末期の希望を聞くようにしている。現在、ご家族の中には特別養護老人ホーム等への入所申込をしている方もあるが、「事業所で最期まで看て欲しい」と思っている利用者やご家族もある。法人では看取りは支援しない方針ではあるが、管理者は「医療行為がなければ事業所での看取りも可能」と話していた。利用者主体の視点から事業所の支援のあり方について考えてみてはどうだろうか。利用者やご家族の希望に応じた支援に向けた取り組みが期待される。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 『緊急対応マニュアル』をフロアの中央にあるキッチン冷蔵庫に設置して、誰でも直ぐ閲覧できるようにしています。不定期ですが、消防署員の職員さん方に来ていただき、応急手当や心肺蘇生の研修会を行っていますし、職員個人でも応急手当等の研修に出席しています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 防災避難訓練を、定期的の実施します。訓練に、地域・消防団・防災士の方々にも参加していただく事もあります。 (外部評価) 年2回、併設法人施設で火災を想定した避難訓練を実施しており、職員と利用者も参加している。時には、近所の方や消防団の方が見学することもある。法人施設全体が地域の避難場所になっており、食料の備蓄はあるが、災害用品等については今後の取り組みとなっている。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) ミーティングや研修等などでも、利用者様に対する言葉かけ・言葉づかいや対応について話し合いを行い、利用者様に対し誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を十分に注意を払って利用者様と接するようにしています。 (外部評価) 小学校運動会時にそばにおられた市民の方から、「職員の利用者に対する言葉遣いがきつい」との電話をいただき、職員間で「言葉遣いについて」の話し合いの場を持ったことがある。「気が付いたらお互い注意しましょう」と職員間で申し合わせており、職員の気づきから利用者の呼び方等について改善したようなことがあった。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者様の理解力に応じて会話するよう心掛け、その会話から本人の思いや希望を聴いて、意向を汲んだ対応をしていくようにしています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどの ように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 全てが利用者の希望通りにはいきませんが、出来る限り希望 にそった日々の暮らしが出来るよう努めています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	(自己評価) 理容・美容に関しては、利用者様や家族様の希望に沿って 対応としています。洋服を選んだり洗顔・整髪など、自分で出 来る方はしていただき、自分で難しい利用者様の場合お手 伝いさせていただいております。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者様個人々の意向やレベルに合わせて声掛けを行い、 職員と一緒に食事の準備や片付けを行っています。食事 も、職員が利用者様の間に座りコミュニケーションを取りながら一 緒に食事するようにしています。 (外部評価) 法人施設の厨房で調理した食事が容器に入って届くように なっており、事業所で配膳している。ごはんは職員が事業所 で炊いている。管理者は「食事の支度の匂いがするような場 所でありたい」と思っており、「夕食だけでも事業所で作ろう か」と話し合われたこともあるが、職員から「介護に手がとられ るので」という声があり、実施には至っていない。陶器の食器 を使用して、職員も利用者と同じテーブルで介助をしながら 同じ食事をされていた。月1回、併設施設合同で行われる 「給食委員会」には、管理者が出席しており、「季節のものを 提供して欲しい」等と希望を示している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 隣接する施設の、給食の業務提携している栄養士による栄 養を考えた献立での料理を食べてもらっています。水分は 食事・おやつ・入浴前後など本人の希望以外にも水分補給 を行っています、一人ひとりの事情によって調整していま す。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 毎食後に口腔ケアを実施をしています。夜間に義歯は外し ていただき水に浸けるようにしており、定期的に洗浄剤に浸 け置きをして殺菌・消毒をするようにしています。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			一人ひとりの排泄パターンや状態に合ったトイレ誘導・介助を行い、失禁やトイレでの失敗を減らして紙パンツから布パンツへの変更を実施して、自立へ向かっての支援を行っています。	
			(外部評価)	
			一人ひとりの排泄パターンに応じて、トイレ誘導や声かけをして、トイレで座ることを支援されている。パッドが濡れていても「替えなくていい」と言われるような場合は、新しいパッドと重さを比較してもらって、交換した方がよいことを伝えている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			朝のおやつを、牛乳系とヨーグルト系を毎日交互にしています。職員と一緒に散歩をしたり、シャワートイレを利用し刺激を与えたり薬等での調整するなどの対応もしています。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			入浴の曜日は決まっていますが、入浴の順番についてはその都度職員が配慮して決めています。利用者の体調不良によって入浴出来ない場合は、翌日に入浴するか清拭などで対応しています。	
			(外部評価)	
			基本的には、2日に一回入浴できるように支援している。湯船の湯は一人ひとり入れ替えて、新しい湯でゆっくり楽しめるように支援している。浴槽をまたいだり、立つことが難しい方は、シャワーと足浴で対応しているが、男性職員が出勤する日は介助にて湯船で温まれるよう支援されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			消灯時間は、21時と決まっていますが、一人ひとり入眠時間が違うので、眠くなるまでフロア等ですごしていただいてから就寝していただいています。休息は、職員が昼夜逆転にならないよう利用者様の状態等を配慮しながら休息してもらっています。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)	
			看護師が利用者様全員の服薬を管理しており、各利用者のカルテのなかに新しい処方箋もファイルし、職員がいつでも確認できるようにしています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価)	
			利用者様の、生活歴や現在興味がある事などを職員で話し合っ、限りはありますが個人こじんでやりたいことが事出来るように支援しています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価)	
			利用者様の希望時の状況にも寄るが、出来る限り外出が出来るように心掛けています。	
			(外部評価)	
			敷地内の庭を散歩したり、併設の法人デイサービスで行事があれば一緒に楽しめるようお連れしている。季節ごと、梅、ばら、藤等の花を見に出かけたり、海やしまなみの橋を見に行かれる。地域のお祭りに出かけると利用者はたいへん喜ばれるようだ。管理者は「最近外出が減ってきた。最低でも月に一回は外出したい」と話されていた。さらに、利用者個々の行きたい場所や懐かしい場所等も探りながら、出かけるきっかけを作っていかれてほしい。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)	
			利用者様本人希望で小遣いを自分で持っている利用者様もいらっしゃいますが、殆どの利用者様が持っておらず小遣いをグループホームで預かり、本人の必要に応じて家族様に了解をもらってから使うようにしています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)	
			利用者様の希望があれば、電話での家族様等と会話してもらっています。友達や知人等も、家族様の了解があれば電話で会話したりできるよう支援しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 玄関やフロアの壁などに、利用者様と職員とで作成した作品を掲示してあります。共用の空間は広くて多目的に使う事ができて、空調設備・床暖房を完備しています。	
			(外部評価) 不要になったバス停の標識を譲ってもらって玄関先に設置しており、長いすを置いて散歩途中の休憩場所として利用している。花壇にはパンジー、葉牡丹、水仙等の花が植えられていた。居間の壁には、年間行事時の利用者の笑顔の写真や干支の切り絵や貼り絵が飾られていた。調査訪問時、利用者は新聞を読んだり、テレビを観て過ごされていた。カラオケの機器が用意されており、カラオケを楽しむことも多いようだ。四国八十八箇所の札所すぐろく用紙が掲示してあり会話のきっかけになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共用空間は広く、自分の居室への出入りするのも自由なので、思い思いの場所で他の利用者様や職員と会話をしたり、テレビを見たり横になったりと自由に過ごすことができるよう支援しています。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家族様・利用者様と職員とで相談して、使い慣れた物を家から持って来ていただき、使い慣れた方向にベッドや持参した物などを居室内に設置し、その後で職員と利用者様とで飾り付けなどを行い居心地よく過ごせるよう支援しています。	
			(外部評価) 各居室には洗面台が備えてあり、くしや歯ブラシを置いている方もある。ベッドと布団は事業所で準備しているが、自分の毛布や枕を持ち込む方もある。テレビや鏡台、ご家族の写真やご家族が作った小物入れを置いている方もあった。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 利用者様一人ひとりが、日常生活・レクリエーション・行事を通して利用者様が出来る生活動作を失わないように支援しています。	